

政策 03 安全・安心に暮らせるまちづくり

施策 03 循環型社会・脱炭素社会の形成



あるべき姿

市民・事業者が環境負荷の少ない、地球に優しい生活・活動を行っています。

施策の成果状況と評価

指標	ごみの減量化・リサイクルに意識をもって生活している市民の平均実践項目数(個)		【環境課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	3.92		対前年度	<b>分析 評価</b> 平均気温の上昇と新型コロナウイルスの感染拡大による公共交通機関の利用を控えたものと考えられます。
	R04実績	3.88		☂ (低下)	
	R05実績				
	R06実績				
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	4.20			
指標	市域からのCO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源CO <sub>2</sub> )(千t-CO <sub>2</sub> )		【環境課】	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	536.4		対前年度	<b>分析 評価</b> 当該年度の実績値は2年後に公表するため、令和2年度の数値を用いています。
	R04実績	482.8		☀ (向上)	
	R05実績				
	R06実績				
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	404.5			

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 ごみ排出量の抑制

指標	1人1日あたりのごみ排出量 (g)		【環境課】	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	799		(向上)	<b>分析 評価</b> ごみの分別意識の高まりから、適正な分別が行われているため排出量の抑制に繋がったものと考えられます。	
指標の動き	R04実績	773		対前年度		(向上)
	R05実績			目標達成度		■■■
	R06実績					(高)
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	764				

## 基本事業02 資源化の推進

指標	資源化率 (%)		【環境課】	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	25.6		(向上)	<b>分析 評価</b> 一般廃棄物の中の資源類の割合が減少し、資源化率が低下したもので、主に、資源類の中で紙類や布類が減ったことが挙げられます。	
指標の動き	R04実績	26.1		対前年度		(向上)
	R05実績			目標達成度		■■■
	R06実績					(中)
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	29.1				

## 基本事業03 ごみの適正処理

指標	1人あたりの可燃・不燃ごみ処理費用 (円)		【環境課】	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	4,690		(低下)	<b>分析 評価</b> ごみの排出量は減少傾向にありますが、燃料費などのコストが高騰しているため、処理費用の増加に繋がっていると考えられます。	
指標の動き	R04実績	4,960.3		対前年度		(低下)
	R05実績			目標達成度		■■■
	R06実績					(低)
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	4,690				

## 基本事業04 再生可能エネルギーの活用

指標	再生可能エネルギー発電設備の導入容量 (家庭、事業所) (kW)		【環境課】	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	27,970		(向上)	<b>分析 評価</b> 令和3年度から令和4年度では、太陽光発電設備の導入量は目標を上回っていましたが、令和2年度から令和3年度における太陽光発電設備の導入量が低かったため、全体として計画値を充足していません。	
指標の動き	R04実績	31,522		対前年度		(向上)
	R05実績			目標達成度		■■■
	R06実績					(中)
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	39,970				

基本事業05 脱炭素行動の実践

指標	脱炭素社会を意識して生活している市民の平均実践項目数（個）		【環境課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	3.95		対前年度	分析 評価 平均気温の上昇及び猛暑日日数が前年より増加したことにより、自動車の利用が増えたことが考えられます。また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークの実施や公共交通機関の利用が控えられたことが考えられます。
	R04実績	3.88		☂ (低下)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			■ ■ ■ (低)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	4.58			